

絵本にひとみ輝く

おはなし隊が玉津保訪問

講談社の「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」が8月29日、玉津保育園（入江幸子園長・園児20人）を訪問。玉津幼稚園・裳掛児童館・裳掛幼稚園の園児らも来園し、絵本の世界を楽しみました。読み聞かせグループ「ちまちまどん」のメンバー7人が「ぼくのくれよん」などの絵本を読むと、子どもたちは大喜び。

おはなし隊隊長の本久映子さんが「シヨコラちゃんのおでかけドライブ」の大型紙芝居をすると、園児たちは身を乗り出して話を聞いていました。

園児たちは、絵本498冊を積載したキャラバンカーにも夢中になり、好きな絵本を選んでページをめくり、読み終わると次の絵本選びに目を輝かせていました。



498冊ある絵本の中から好きな本を選び、ページをめくる園児たち

古代船がやって来た

大王のひつぎ実験航海で牛窓に寄港

古代船で九州有明海から大阪湾まで阿蘇ピンク石製の石棺を運ぶ「大王のひつぎ実験航海」の船団6隻が8月20日、牛窓ヨットハーバーに寄港し、約100人の市民が、下関水産大学・神戸大学の学生を拍手で歓迎しました。

歓迎式では、立岡脩二市長・東原和郎助役が激励の言葉を述べ、立岡市長と増本好孝助役が、杉村船団長に歓迎の言葉を寄せ書きした応援旗と唐子踊人形の記念品を贈呈。杉村船団長から立岡市長に阿蘇ピンク石製の置物が贈呈されました。



牛窓ヨットハーバーに寄港した古代船

磨くほどに心も磨かれ

国府小学校でトイレ掃除



懸命に便器を磨く国府小の児童たち

国府小学校（松本卓男校長・児童343人）で8月28日、トイレ掃除が行われました。岡山掃除に学ぶ会が呼び掛けたもので、6年生を中心に、児童・先生・保護者ら約110人が参加。換気扇・蛍光灯の掃除をし、壁や天井のほこりを落としたり、床・便器磨き。最初は戸惑っていた児童らも、汚れた便器と格闘するうちに真剣になり、汗だくで汚れを落とし、便器はピカピカ！掃除を終え、感想を話す参加者の皆さんは充実感にあふれ、みな笑顔です。

6年生の森田礼央君は、「思っていた以上にきつかった。でも、汚れが取れ出すと頑張ろうという気持ちになり、「一生懸命頑張れた」と、さわやかな顔で話していました。



耳を傾け説明を聴く子どもたち

きれいな音がしたよ

刀剣の里で風鈴作り

8月24日、備前おさふね刀剣の里で「刀剣の里こども教室・風鈴を作ろう」が行われました。参加したのは市内の小学生18人。白銀師の野口裕弘さんを講師に迎えて簡単な注意事項を聴き、早速作業開始。少し難しい作業に、子どもたちは悪戦苦闘。「先生、教えて〜」「もうできない」と言いながら、一生懸命作業に没頭。自分だけの風鈴が出来上がり、子どもたちも満足そうでした。

楽しみながら汗流す

キンボール体験教室

牛窓北小学校体育館で8月20日、キンボール体験教室が開かれました。

キンボールは、直径11センチ、約1キの大きなボールを使い、1チーム4人、3チームでプレー。サーブとレシーブを繰り返して点数を競います。

子どもから高齢者までだれもが楽しめ、体全体

を使うスポーツに16人が挑戦。巨大ボールを追い、心地良い汗を流していました。

神宝泰子さん（61歳・牛窓町長浜）は、「初めてのスポーツで、興味津々で参加した。敵味方の位置を確認しながらのプレーは頭と体を使い楽しい」と話していました。



巨大ボールを追い掛けて

色彩の魔術師の作品ずらり

岡山いこいの村で緑川洋一写真展

緑川洋一写真展が9月3日から岡山いこいの村（邑久町虫明）で開催され、写真愛好家などが鑑賞に訪れています。緑川洋一写真実行委員会が、晴れの国おかやま国体歓迎イベントとして開催。

会場には「色彩の魔術師」と呼ばれた緑川氏の多重露出を用いた写真など36点や、愛用のカメラ、家族の写真などが展示されています。

少年時代から愛し続けた瀬戸内海の輝きを色彩豊かに表現した作品を、皆さんご鑑賞ください。期間は、10月31日まで。10月16日午前11時、午後2時の2回、緑川氏の長女・西瑞子さんの作品説明会があります。



多重露出の作品「夏の海」などが並ぶ緑川洋一写真展